

## 第7回全日本不動産協会杯争奪少年サッカー大会【ラビットカップ】実施要項(案)

- (1) 名称 第7回全日本不動産協会杯争奪少年サッカー大会【ラビットカップ】
- (2) 主催 一般社団法人大分県サッカー協会
- (3) 主管 (一社)大分県サッカー協会ジュニア委員会
- (4) 特別協賛 公益社団法人全日本不動産協会大分県本部
- (5) 協賛 (株)モルテン
- (6) 後援 大分合同新聞社, OBS大分放送局, TOSテレビ大分, OAB大分朝日放送, NHK大分放送局, エフエム大分
- (7) 期日 平成30年(2018年)6月24日(日)・7月8日(日)
- (8) 会場 大在東グラウンド、挾間上原グラウンド、大分スポーツ公園だいぎんサッカー・ラグビー場
- (9) 参加資格
- ① 平成30年(2018年)度大分県サッカー協会に加盟登録されたチームで、各地区代表チームであること。
  - ② 平成18年(2006年)4月2日以降に生まれた選手で構成されたチームであること。
  - ③ 参加の申し込みは、監督1名を含む引率指導者5名、選手16名までとする。  
引率指導者の中に、最低1名以上、日本サッカー協会公認D級以上の指導者資格を有する者が居ること。(大会には資格証を持参すること。)
  - ④ 6年生が16名以上いる場合は2チームの出場を認めるが、同じ選手が違うチームで出場できない。  
その際、それぞれのチームに別々の指導者が帯同すること。  
同じ指導者がチームにまたがって登録することはできない。
  - ⑤ スポーツ傷害保険に必ず加入していること。
  - ⑥ 各チームの指導者は、できるだけ多くの選手の出場機会を確保するよう努めるものとする。
- (10) 試合方法
- ① 各地区予選を勝ち上がった24チームを8パートに分け、予選リーグを行う。予選リーグ各パート1位の8チームにより決勝トーナメントを行い、優勝・準優勝・3位チームを決定する。  
予選リーグは、その試合時間を**40分(20-10-20)**とし、その試合結果により、最上位のチームが決勝トーナメントへ出場する。
  - ② 予選リーグの順位の設定は、Ⅰ勝点(勝3点 分け1点 負0点) Ⅱ当該チームの戦績 Ⅲ得失点差 Ⅳ多득点 Ⅴ抽選の順とする。勝点が同点になった場合の順位決定方法は、  
[Ⅰ当該チームの戦績、Ⅱ得失点差、Ⅲ総得点、Ⅳ抽選]とする。
  - ③ 決勝トーナメントは、試合時間を**30分(15-5-15)**とし、勝敗の決しないときは**3人制のPK戦**を行う。  
ただし、**決勝戦のみ10分(5分-5分)の延長戦**を行い、それでも勝敗が決しない場合3人制のPK戦を行う。
  - ④ 登録できる交代要員および交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができ、チームの指導者、もしくは選手は「第4審」に交代選手の番号を口頭で報告し、用具チェックを受けた後、交代ゾーンから行う。ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。また、GKが交代する場合はアウトプレー時に主審を通じ行う。  
※交代ゾーン=ベンチ側のハーフウェイラインを挟んで3mずつ6mの範囲
  - ⑤ ベンチ入りできるスタッフは、大会登録書に記載の、監督・その他役職5名の内3名以内とする。
  - ⑥ 審判は、主審1名、副審2名 第4審の4人制とし、予選リーグにおいては、相互審判割り当て制とする。  
決勝トーナメントにおいては、本部対応とする。各試合にマッチコミッショナーを置き、決勝トーナメントは、ウェルフェアオフィサーも置く。
  - ⑦ 審判員は、試合開始前にベンチの選手を含めた登録全選手の用具の確認を行う。
  - ⑧ 試合球は4号検定球とし、予選リーグにおいては、各チームの持ち寄りとする。決勝トーナメントにおいては、本部で準備する。
  - ⑨ 試合規則は、「平成30年(2018年)度日本サッカー協会 8人制サッカー競技規則」に準じる。
  - ⑩ 競技場の大きさは、縦68m・横50mとする。センターサークル半径7m・ゴールエリア4m・ペナルティエリア12m・ペナルティマーク8m・アーク7m とし、少年用ゴールを使用する。
  - ⑪ 大会期間中、累計2回の警告または、退場及び退席を宣告された者は次回戦1試合に出場せず、それ以降の処置については本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。  
(累積は、予選リーグ→決勝トーナメントと持ち越す。)
  - ⑫ 大会中、天候によっては主審の判断で「飲水タイム」をとることもある。また、雷雨など、試合の続行が不可能だと判断される場合、中断他、大会本部にて協議・判断し、臨機応変な対応をとる。  
※ピッチサイドにスクイズボトルを置いて、熱中症対策をする事を推奨する。  
※ステンレス製の水筒は不可、プラスチック製のスクイズボトルのみ許可  
※ピッチから1メートルほど離して配置、できればチーム毎に分かりやすい目印をつける  
※インプレー・アウトオブプレーに関わらず飲水可能
  - ⑬ 大会期間中は、大分県協会所属資格者(3級以上)の審判を必ず1名以上帯同させ、審判員(主審・副審)は、審判服を着用の上、必ず資格ワッペンを付けること。
  - ⑭ 審判員は、写真を添付した資格証を常時携帯し、提示を求められた際にはその指示に従うこと。
- (11) 参加方法
- ① **申込先** Webによる申し込みとし、Kickoffのサイトより申し込む  
締め切り=6/15(金) 21:00 **※以降の変更は認めない。**  
<https://kickoff.jfa.jp/> →「大会への参加申込」よりおこなう。  
※【大会エントリーガイド】を必ず確認すること。

- ② **参加料** 10,000円 ※参加費の振り込み期限は6/15(金)15時までとする  
【振込先】 大分銀行 大分銀行 南支店 普通 7521369 ※振込は必ずチーム名で行う  
一般社団法人 大分県サッカー協会  
[イッパンシャダンホウジンオオイタケンシサッカーキョウカイ]

- ③ **抽選会** 日時:2018年6月17日(日) 19:00~  
場所:コンパルホール 302会議室(3F)

修正及び変更手続きについては、t\_ueno@junior.ofa.or.jpまでメールにて連絡すること。

※要項、注意事項確認のため必ず指導者が参加すること。

※参加料の振込及び大会エントリーが、期限に間に合わない場合は、参加を認めない。

- (12)その他
- ① 同じ選手が、違うチームで登録及び出場はできない。  
移籍選手については、5月10日までに移籍手続きが完了し、WEBエントリー申請ができることとする。  
加えて、年間を通じて同じチームで活動するチームであることとする。
  - ② 大会期間中は、常に選手証及び指導者資格証、審判資格証、もしくはそれぞれの電子証の写しを携帯し、必要に応じて提示すること。指導者資格のない指導者は本人確認できる証書(運転免許証など)を提示すること。
  - ③ マッチコーディネーションミーティング(MCM)は、予選リーグの各パート第1試合開始70分前に、3チーム同時に行い、決勝トーナメントでは、各試合の70分前に行うものとする。その際、チーム代表者は、必ず選手証・指導者資格証及びユニフォームを持参(FP/GKの正副全て現物で確認。写真等不可。)すること。また、大会参加申込書(エントリー表)を1部作成し、本部に提出すること。
  - ④ 試合開始10分前までに選手証・指導者証と本人の確認を本部にて完了しておくこと。
  - ⑤ ユニフォーム(ソックスも含む)は、正・副ですべて異色のものを用意(厳守)し、どちらとも背・胸番号は選手本人と一致すること。  
※番号は胸と背中に必ず明記する事とし、パンツの前面にもあるのが望ましい。  
※番号は1~16までの通し番号とするのが望ましい。  
※シャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。  
※ユニホームの下にアンダーシャツを着用する際は、その色が袖の主たる色と同色である事。  
※アンダーショーツおよびタイツは、ショーツの主たる色、またはショーツの裾の部分と同じ色でなければならない。同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。  
※ストッキングの上からレガース止めを巻く場合は、ストッキングと同色のものしか認められない。  
※広告表示については、ユニホーム規定により承認された場合のみ認める。  
※JFA規約 ユニホームの既定 第5条(7)その他②に明記されているとおり、「チームは、各国代表チーム及びプロクラブチームのレプリカを着用して公式競技会に出場することはできない」とこととする。
  - ⑥ 出場選手の保護者の承諾は、必ず取り付けておくこと。
  - ⑦ 応援のマナーや会場の清掃については、各チームにおいて責任を持つこと。  
○戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ1人の引率指導者が伝えることができる。  
○特に、相手チーム・審判に対する中傷は固く禁じる。  
○選手への厳しい叱責や体罰等があったと認められ、主審から一度注意を受けた後に再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降はベンチからのコーチングを不可とする。  
それ以降の試合については、規律・フェアプレー委員会において協議し、処分することもある。  
○チームは本部席側に椅子を置いてベンチを設定し、グラウンドを挟んで後援会等の応援席とすること。  
○大会本部・審判・相手チームなどへの誹謗・中傷は固く禁じる。目に余る行為が見られた場合には、厳重に注意するとともに、その程度によっては大会本部にて規律委員会を開き大会の出場取り消しを含め、ペナルティを科することもあることを重々承知しておくこと。  
○駐車場における椅子を置くなどの場所取りは絶対にしてはいけないこと。(撤去し本部で預かります)  
○駐車証には必ずチーム名を明記し、駐車時はダッシュボード上などはっきりと見える場所に掲示すること。  
○駐車場内外における駐車トラブルについて、大会本部はその責任を一切負わない。
  - ⑧ 「個人情報保護法案」の趣旨に沿って、個人情報を取り扱う。  
大会登録書は、本大会において事務局とチーム間の連絡手段と選手チェックにのみ利用し、漏洩のないように万全の管理を行う。チーム代表者は以下の点を確認の上、申し込むこととし、名簿が提出された時点で選手及び保護者が同意されたものとして取り扱う。  
(1)個人情報を大分県サッカー協会ジュニア委員会に提出し、標記大会に出場することに同意する。  
(2)提出した名簿をジュニア委員会がチームとの連絡、及び選手チェックに利用することに同意する。
  - ⑨ 本大会中、その他に記載されている事項を含め、大会規律違反と見なされる行為があった場合には、当該チームに厳重注意を行うとともに、その程度によっては大会本部にて規律委員会を開き、大会の出場取り消しを含め、ペナルティを科することもある。
  - ⑩ 開会式は大在東グラウンド、閉会式は大分スポーツ公園だいきんサッカーラグビー場Bコートにて行う。  
開会式 6月24日(日) 9:00~ 大在東グラウンドにて試合する全チーム ユニフォーム着用  
閉会式 7月 8日(日) 試合終了後 上位4チーム
  - ⑪ 流行性疾病、感染症等の事情により大会に出場できなくなった場合は速やかに大会事務局に連絡する事。なお、チームが不参加の場合でも審判判当の責任は果たす事とする。
  - ⑫ 事務手続き簡素化のため、大会組合せ・日程等の連絡は、大分県サッカー協会HPで行う。